

## 肺がん集団検診の個別検診への一本化について

### 1 趣旨

現在、18区福祉保健センターで実施している肺がん集団検診について、令和6年度から医療機関で実施する個別検診へ一本化します。

### 2 理由

#### (1) 集団検診受診者数の減少

医療機関で実施する個別検診は、コロナ禍の影響を受けた令和2年度を除き増加傾向にある一方、各区で実施している集団検診は減少傾向にあります。

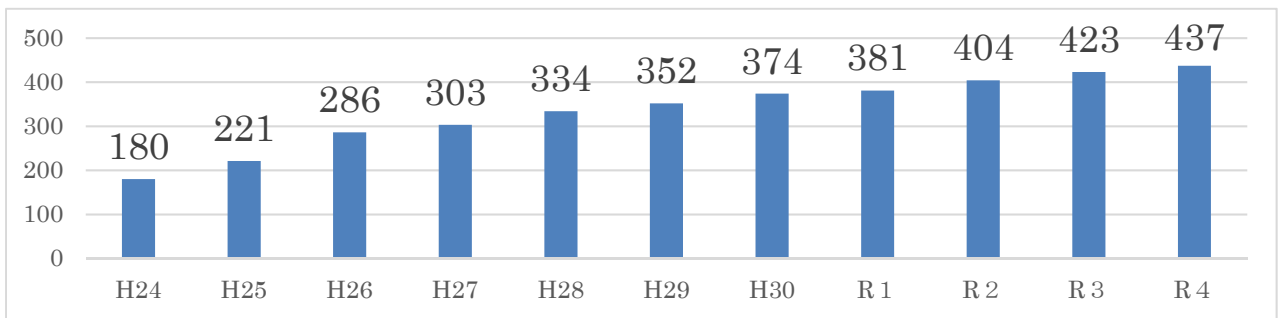
【参考】受診者数、および集団検診の占める割合の推移

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
集団検診	4,311	4,332	5,164	4,823	4,327	4,179	3,938	3,165	1,413	1,406
個別検診	25,526	37,311	54,025	71,902	81,939	87,422	102,627	113,384	101,382	111,298
集団検診の割合	14.4%	10.4%	8.7%	6.3%	5.0%	4.6%	3.7%	2.7%	1.4%	1.2%

#### (2) 個別検診実施医療機関数の増加

個別検診実施医療機関数の増加に伴い、集団検診がなくても、近くの医療機関で検診が受診できる状況になっています。

【参考】実施医療機関数の推移



#### (3) 効果的な健康管理

個別検診では、日頃の健康状態を踏まえた結果説明を行えるなど、継続的な健康管理に効果的だと考えます。

また、転倒や体調不良等の突発的な事象が生じた際、より適切な対処が可能となります。

### 3 今後のスケジュール

令和5年4月～：本市ウェブサイト、「がん検診ガイド」及び個別勧奨通知等で周知

令和6年4月～：肺がん集団検診を個別検診へ一本化